

COIプログラム
真の社会のイノベーションを
実現する革新的「健やか力」
創造拠点



いつまでも健康に
過ごせるための研究。



青森県＝短命県返上を合言葉に！

日本 は超高齢社会を迎え、加齢性疾患・生活習慣病への罹患、及び、医療費の増加が社会的問題となっています。青森県は最も平均寿命が短い県であることから、弘前大学では“短命県返上”を合言葉に、2005年度に弘前市（岩木地区）におけるコホート研究（岩木健康推進プロジェクト）を立ち上げ、健康指導をおこなうなどして住民の健康増進に取り組んできました。



認知症や生活習慣病の減少を目指して！

COI プロジェクト「真の社会イノベーションを実現する革新的『健やか力』創造拠点」は、このような経験を持つ弘前大学が中心となり、産学官の力を結集して健康寿命の延伸、認知症や生活習慣病の減少を目指すプロジェクトです。



健康・医療データ連携のイメージ

弘前大学COI研究推進機構

岩木地区のコホート研究

《岩木ビッグデータ》

生活・健康
情報

疾病情報

これまでに延べ2万人にご協力いただき、生活習慣を含め1人あたり600項目にわたる健康・医療情報をご提供いただいています。

全国健康・医療データと連携

弘前市だけでなく、全国で実施しているコホート研究で集めた健康・医療データを連携させることで多様な分析が可能となり、認知症や生活習慣病等の予兆発見・早期治療の研究を加速させることにつながります。

※コホート研究とは…地域住民・特定のグループを対象に、長期にわたり健康状態と生活習慣や環境など様々な要因との関係を調査する研究です。

他のコホート研究の健康・医療データと連携

本プロ ジェクトでは、多様な取り組みをおこなっております。その一つが、福岡県糟屋郡久山町の住民を対象とした疫学調査「久山町研究」や京都府京丹後市の住民を対象とした疫学調査「京丹後長寿コホート研究」など、様々な地域でおこなわれているコホート研究で得られた健康・医療データを連携させる取り組みです。



未来へつなげるデータ活用

連携 させた健康・医療データを本プロジェクトに参加している研究機関や民間企業が使えるようにすることで、データの活用が拡大し、個々のコホート研究においてはできないような分析や、より精度の高い解析が可能になります。これにより、認知症・生活習慣病の予兆発見や予防法開発等を加速させることができると考えております。



本プロジェクトでは、国が定める法律や指針、ガイドライン等への遵守に加え、以下のようにデータを厳重に扱います。

- 約束 1** データは各コホートから匿名化された状態で提供していただき保管します。
- 約束 2** データを管理運営する組織を設置し、データの適切な管理・運営を徹底します。
- 約束 3** 本プロジェクトに参加している研究者や民間企業がデータの利用を希望する場合、設置した組織でその利用目的・方法の妥当性を審査し、承認された場合にのみデータを提供します。

健康・医療データベースの構築と運用

厳格に審査した研究機関や民間企業にのみデータを提供

集積 した健康・医療データは、研究開発上、大変貴重なものです。そのため、データベースを構築し、同意いただいたコホート研究のデータを登録して本プロジェクト参加機関以外の研究機関や民間企業も利用できるようにすることを計画しています。利用を希望する研究機関や民間企業への提供は、設置した組織にて利用目的・方法の妥当性を厳格に審査し、承認された場合にのみ行われます。



データベースの運用



全国から集められた情報を研究機関や民間企業が使えるようにデータベース化し、厳格な審査をもって運用します。

集積した貴重な健康・医療データ

